

第3回宇和島市障害者計画・障害福祉計画 検討委員会 会議概要

【開催日時】：平成30年2月14日（水） 14時00分～15時00分

【開催場所】：宇和島市役所 A棟 会議室

【出席者】：審議会委員10名

武田委員長、山本副委員長、渡部委員、大西委員、渡辺委員、酒井委員
桑原委員、中村委員、青嶋委員、奥川委員

○次 第

1 開会

【岡田保健福祉部長より挨拶】

2 議事

(1) 第2回検討委員会における協議事項等の整理

【事務局から資料1を用いて説明】

(2) パブリックコメントについて

【事務局から資料2を用いて説明】

【質疑応答】

(委 員) パブリックコメントの実施については、検討委員会で計画案の内容を固める前に実施するものなのか。

(事務局) パブリックコメントでいただいた意見等を反映させた上で、計画の最終案を作成し、検討委員会に諮りたいという思いで実施した。

(委 員) パブリックコメントの実施期間は10日が標準的なのか。毎日ホームページの確認をしないと目につかないのではないか。もう少しゆとりのある日程を組めないものか。事前に掲載期間が分かっていないのであればそれなりの期間を設けることが必要ではないか。

(事務局) 今回はスケジュール管理が十分にできておらず十分な期間を設けることができなかった。パブリックコメント実施に対する周知を行っている事例もあったので、見習って、期間も十分にとり、事前周知を行うようにしていかななくてはいけないと考えている。

(委 員) ホームページへのアクセス数、各窓口での閲覧数は把握しているか

(事務局) アクセス数は把握していない。窓口での閲覧はなかったと聞いている。

(委 員) 事務局に責任があるとは言わないが、パブリックコメントはいろいろな方に見てもらい、意見を頂戴するものである。手続きを踏んだからいいと考えてしまうと単なる行政のアリバイ作りとなってしまう。より長い期間を設けるべきだし、関係の方に案内する配慮が今後は必要ではないか。0件というのはこの計画に何の期待していないということの裏返

しなのかもしれない。そのような点をご承知おきいただきたい。

(3) 宇和島市障がい者計画・障がい福祉計画（第5期）案について

【事務局から資料3・4を用いて説明】

【質疑応答】

(委員) 46ページに消費者トラブルの防止という欄があるが、宇和島で障がいがある方のトラブルの事例を把握しているのか。

(事務局) 把握していない。

(委員) 介護者がお金目当てでというような話を聞いたことあるのでこのあたりも含めたものを想定しているのかと思った。

(事務局) 想定はしていなかった。

(委員) 介護者がお金目当てでという話を聞くので意識を持っておく必要があると思う。

(委員) 認知症の方の運転免許のことが昨年とりざたされた。障害者の場合も、公共交通機関が少なくなる中で、そこに対する支援や介助が必要な場合がある。移動に対する支援が必要であると思う。

(事務局) 同行援護、行動援護、移動支援と制度はあるが、担い手不足という一面もある。インフォーマルなサービスを含めて検討する必要がある。

(委員) インフォーマルな部分への支援も考えていただきたい。

(4) 宇和島市障がい者計画・障がい福祉計画（第5期）案の採択について

【委員10名挙手による採択→全員賛成で採択】

(5) その他

(委員) 計画の進捗状況の管理はどのように行うのか

(事務局) 検討委員会を開催することを考えている。

(委員) 頻度は？

(事務局) 最低年1回は開催することを考えている。

(委員) これまでの実績は

(事務局) 4期計画期間中は1回しか開催していない。進捗状況の管理がしっかりとできていないという反省点があるのでしっかりと取り組んでいきたい。

(委員) ぜひお願いしたい。

(委員) 計画の公表はどのようなスケジュールで行うのか。

(事務局) 4月に入ってから公表を考えている。

(委員) 各事業所にも計画書は配布されるのか。

(事務局) その方向で考えている。

(委員) 計画の中に推進していく項目があるが、それらの項目が実現されていくところがはっきりとやっている方も現場にもわかる形で取り組み、しっかりと見直しができるような形に関与できるような体制を作っていくなが

ら次の計画につなげていけるようにしていきたい。やらないことには変わらない。計画がよりよいものにバージョンアップしていけるように皆さんに周知徹底していきながら進めていけたらと思う。広報活動について、実際障がい者の方たちの手元にこの情報が届くか届かないかというところがポイントになるかと思う。宇和島市の障がいのある方の隅々にまでこの計画が行き届いて目をとおしてもらい、どういった形で市が動いていっているのか障がいのある方を含めて市民全員が把握し、事業者が対応し、行政が体制づくりをしていくようにできたらと思う。PDCAサイクルを実行してより良いものを作り上げていくとういことができればと思う。

(事務局) PDCAサイクルがきちんとできていなかったことに関しては、計画は立てたが実行がしっかりとできていなかったことが要因ではないかと考えている。しっかりと検証ができるように、完璧なものではないかもしれないが、まず取り組む、動くということを念頭においていかなければならないと思っている。

(委員) 移動の支援に関して、移動支援で委託している事業所のサービス提供の実態についての把握を行った欲しい。利用できないケースがでてきている状況がある。

(事務局) 状況の把握に努め、相談等行いながら取り組んでいきたい。

(事務局) 今後の計画の微細な修正に関しては、事務局に修正を一任→了承。
国・県からの指示で修正が生じた場合は、検討委員会を開催して計画の修正を行う。計画書の印刷が完了次第委員の皆様へ配布する。

3 閉会